

## 【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第4回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 AA

第5回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 AA

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付けを公表しました。

## 【格付け理由】

鉄道の建設や鉄道事業者、海上運送業者などによる運輸施設の整備を支援する独立行政法人。運輸施設整備事業団と日本鉄道建設公団が統合し、2003年10月に独立行政法人として発足した。整備新幹線の建設をはじめ、鉄道や国内海運を中心とした主要業務を引き継いでおり、運輸行政の中核を担う。

鉄道建設技術スタッフの規模・質は日本でトップクラスにあり、土木・軌道・電気・運転設備や用地業務などの総合的なノウハウを兼ね備える。第3セクター鉄道会社向けと国内船舶関連の債権の一部の回収が遅れており、リスケジュールに依拠している。もっとも、鉄道会社向けでは国・関係自治体が一体となり回収計画を組んでいる。運輸行政における鉄道・運輸機構の重要性を勘案すれば、機構が多大な負担を強いられる懸念は小さい。2004年度に北海道新幹線など整備新幹線の新区間について2005年度からの着工が決定された。建設費は将来の既設新幹線譲渡収入を返済原資に有償資金で調達する計画だ。ただ、実際の投資額は前例し活用する資金の金利負担分を差し引いた金額になるため、実質的に鉄道・運輸機構の負担はない。また、着工に際しては地元自治体からの補助金の一部を受け取る。

船舶助定は近年の市況の低迷を背景に未収金が増加した結果、同助定は2003年度末で約300億円の債務超過となっている。ただ、2005年度に40億円の政府出資が決定し、今後、2009年度までの重点集中改革期間中に毎年40億円の政府出資が予定されている。債務超過の解消に向けた取り組みは今後も国と一体となって進められる可能性が高く、問題は徐々に解決に向かうだろう。

## 【格付け対象】

発行者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第4回、第5回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	第4回＝200億円、第5回＝250億円
発行日	ともに 2005年 6月22日
償還日	第4回＝2009年 6月19日、第5回＝2015年 6月19日
表面利率	第4回＝0.33%、第5回＝1.33%
格付け	ともに AA (新規)
受託会社	みずほコーポレート銀行、三井住友銀行
担保	一般担保
備考	商法の規定に基づく社債管理会社でなく独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に基づく受託会社を置く

★発行体格付け： AA 【格付けの方向性：安定的】

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。